

消防評価一括マーク 請求カード

因幡電機産業株式会社 因幡電工カンパニー
営業所 行
FAX () -

(注) 消防評価一括マークは、特定共住区画貫通に使用される場合のみご請求願います。
特定共住区画とは、消防法施行令別表第1(5)口項に規定されている「寄宿舍、下宿または共同住宅」に適用されています。

■『消防評価一括マーク』について

耐火遮音カバーを使用した防火区画貫通部措置工法は、平成17年消防庁告示第4号に規定する耐火性能を有することを(一財)日本消防設備安全センターにより確認(性能評価)されています。特定共同住宅等の床(特定共住区画)でのご使用の際は、必ず性能評価品である旨の表示(評価一括マーク又は評価証票)が必要になります。請求カードに必要な枚数等をご記入の上、弊社までFAXにて送付願います。確認の上、折り返しご請求枚数の「評価一括マーク」をお送りいたします。

(財)日本消防設備安全センター評価：KK28-007号(床)(共住)/KK28-008号(床)(共住)/KK29-006号(床)(共住)/KK30-002号(床)(共住)

IRXP-SK 集合管閉塞キット

※ 上記枠内に下記の最寄の営業所名をご記入の上、FAXにてお送りください。
※ 楷書体でご記入ください。
※ 現場単位でまとめて1枚の消防評価一括マークご請求カードでお送りください。

▼ 施工内容

現場名	
所在地	
施主名	
建築施工会社名	
設備施工会社名	
ご購入店	TEL () -

▼ ご請求枚数 消防(特定共住区画)評価一括マークご請求枚数

KK28-007号(床)(共住)	枚	KK29-006号(床)(共住)	枚
KK28-008号(床)(共住)	枚	KK30-002号(床)(共住)	枚

(注) 消防評価一括マークは、一つの防火対象物(建築物1棟)に1枚貼付してください。

▼ 施工のご確認

取扱説明書に基づき施工完了された事をご確認の上で署名および捺印してください。



▼ 送付先

貴社名	
所属部署	ご担当者名
ご住所	
TEL	() -

因幡電工カンパニー

因幡電機産業株式会社

(最新情報は下記ウェブサイトをご覧ください)
<http://www.INABA-DENKO.com/>

札幌営業所 ☎(011)209-1784 〆 FAX(011)209-1789 / 横浜営業所 ☎(045)470-1780 〆 FAX(045)470-1798 / 広島営業所 ☎(082)545-1132 〆 FAX(082)545-1134 / 東京推進課 ☎(03)5783-1721 〆 FAX(03)3474-1715
仙台営業所 ☎(022)293-1785 〆 FAX(022)293-1802 / 名古屋営業所 ☎(052)541-1780 〆 FAX(052)541-1791 / 九州1・2課 ☎(092)283-1785 〆 FAX(092)262-1787 / 大阪推進課 ☎(06)4391-1941 〆 FAX(06)4391-1905
関東営業所 ☎(048)642-1783 〆 FAX(048)642-1756 / 金沢営業所 ☎(076)262-1783 〆 FAX(076)262-1787 / 広域1課(大阪) ☎(06)4391-1713 〆 FAX(06)4391-1945
首都圏1課 ☎(03)5783-1723 〆 FAX(03)3474-1718 / 近畿1課 ☎(06)4391-1940 〆 FAX(06)4391-1945 / 広域2課(東京) ☎(03)5783-1722 〆 FAX(03)3474-1716
首都圏2課 ☎(03)5783-1724 〆 FAX(03)3474-1719 / 近畿2課 ☎(06)4391-1732 〆 FAX(06)4391-1945

※商品に関するお問い合わせは、お近くの営業所へ、お気軽にどうぞ。



排水用集合管の防火区画貫通部耐火措置工法部材

IRXP-SK-A 集合管閉塞キット 施工手順書

国土交通大臣認定 : PS060FL-0840(床・鋳鉄製集合管[モルタル埋戻し]) (一財)日本消防設備安全センター評価:KK28-007号(床)(共住)
PS060FL-0854(床・鋳鉄製集合管[ヒートメル・サイレンス付きモルタル埋戻し]) KK28-008号(床)(共住)
PS060FL-0895(床・鋳鉄製集合管[シンドカット付きモルタル埋戻し]) KK29-006号(床)(共住)
PS060FL-0957(床・鋳鉄製集合管[積水化学工業製防振材付きモルタル埋戻し]) KK30-002号(床)(共住)
※上記、認定・評価につきましては、別売の弊社製品「耐火遮音カバー(IRLP)」と組み合わせて使用する場合があります。

本製品は、積水化学工業株式会社製集合管 ADスリム継手(差し口)100A
株式会社クボタケミックス製集合管 4SL(片受け)
株式会社小島製作所製集合管 CPシリーズ(ストレート型)100A に対応しております。



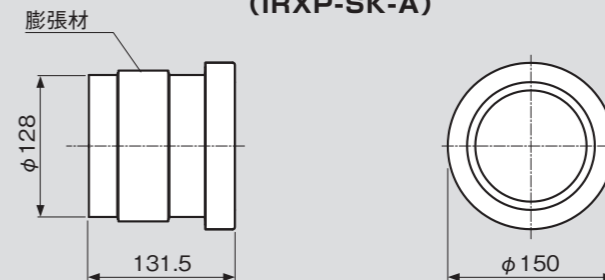
- 1.作業時には、軍手・手袋・マスクなどを着用してください。
- 2.本製品には耐候性はございません。
保管・施工の際には直射日光や風雨がつかないように措置を施してください。
- 3.国土交通大臣認定書(一財)日本消防設備安全センター評価書をご熟読の上、施工してください。

■ 集合管閉塞キット・施工具などの準備

<集合管閉塞キット>

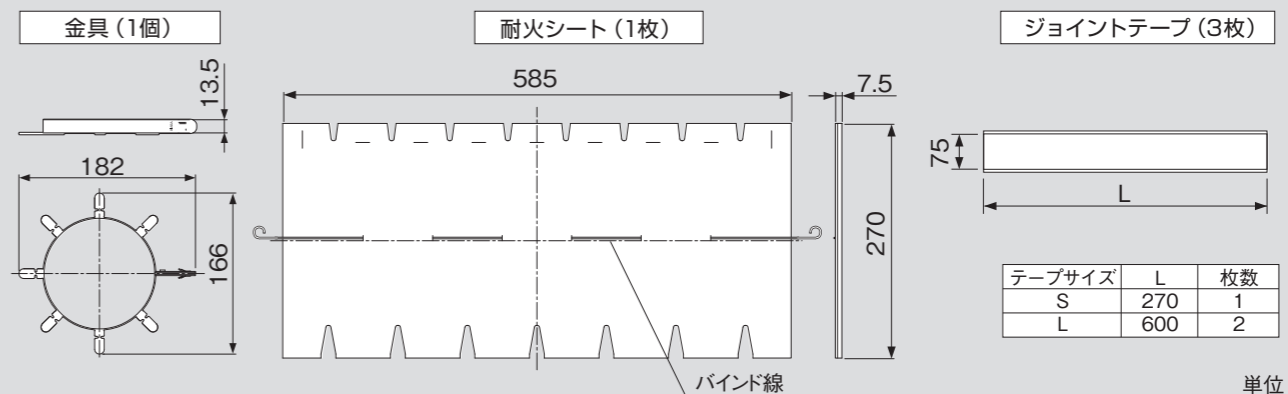
膨張材付伸縮両受ソケットと金具付耐火シートは、必ずセットでご使用ください。

膨張材付伸縮両受ソケット (IRXP-SK-A)



単位：mm

金具付耐火シート (IRXP-SK-B)



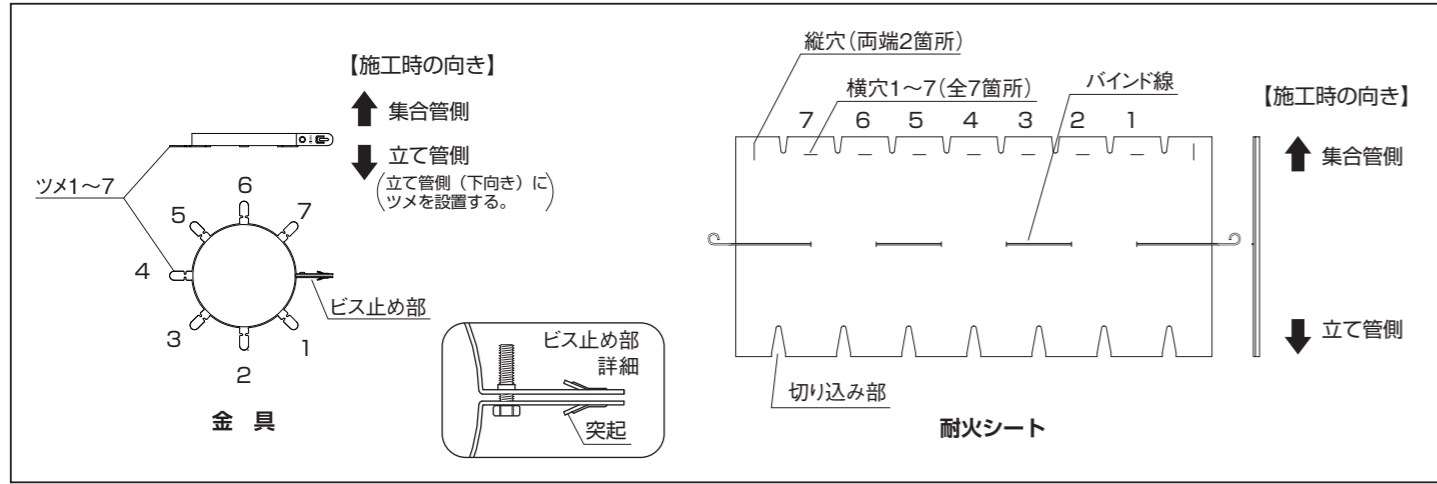
単位：mm

<注意> 排水用集合管・集合管支持金具は、別途ご用意ください。

<施工具>

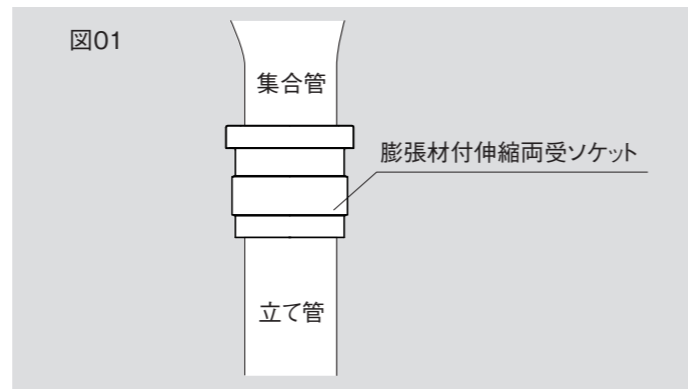
ドライバー(No.2)もしくはM5用めがねレンチかスパナ(呼びサイズ:8)、ウエスなどをご用意ください。

■ 各部名称



■ 施工手順

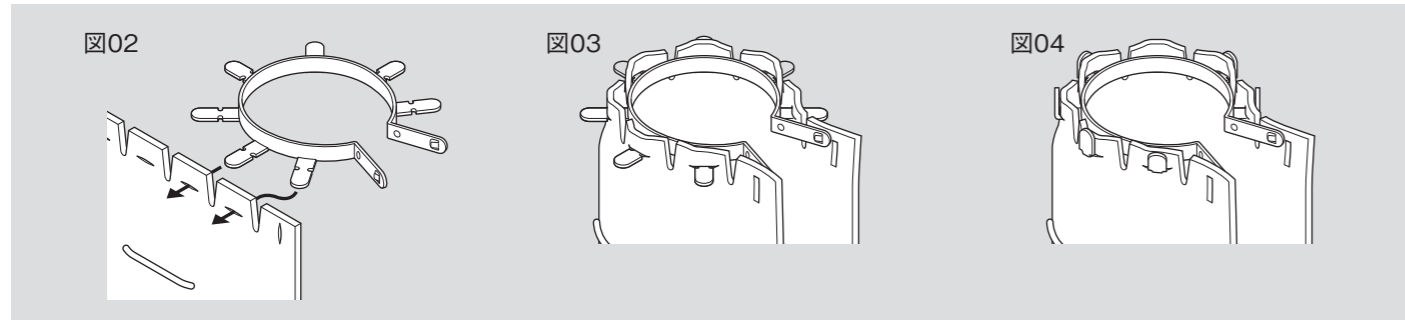
- ① 膨張材付伸縮両受ソケットを立て管、集合管に接続させてください。(集合管の挿入シロ65mm)
(図01参照)



- ② 耐火シートの横穴に、金具のツメを差し込んで、耐火シートが脱落しないようにツメを上向きに折り曲げて固定します。横穴・ツメ1~7まで順番に繰り返します。(図02~04参照)

※金具はツメが立て管側(下向き)になるように設置してください。

※何度も折り曲げると、材質上金具が破損しますので、ご注意ください。



- ③ 耐火シートを取付けた金具を、集合管の直線部にはめてしっかりと固定させ、ビス止め部にビスで一箇所固定します。(図05参照)

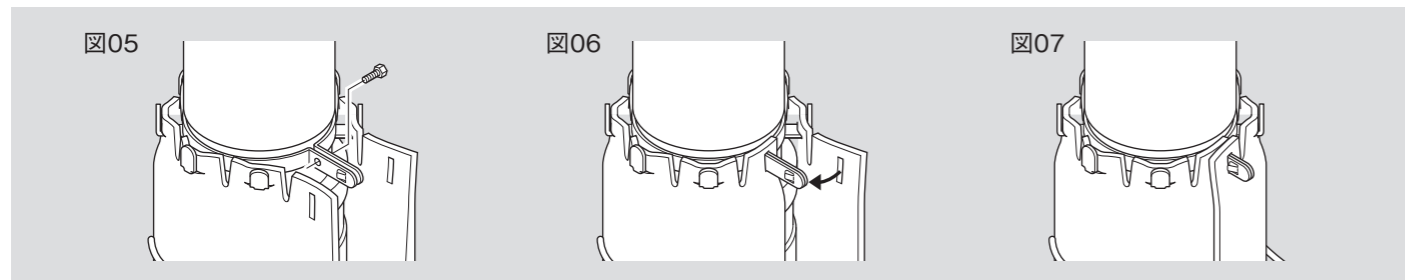
その後耐火シートの縦穴2箇所を、交互に金具のビス止め部に差し込みます。(図06~07参照)

※耐火シートが脱落しないように、ビス止め部の突起より内側にシートを押し込んでください。

※何度もビスで締め直すと、材質上金具が変形し固定ができなくなります。

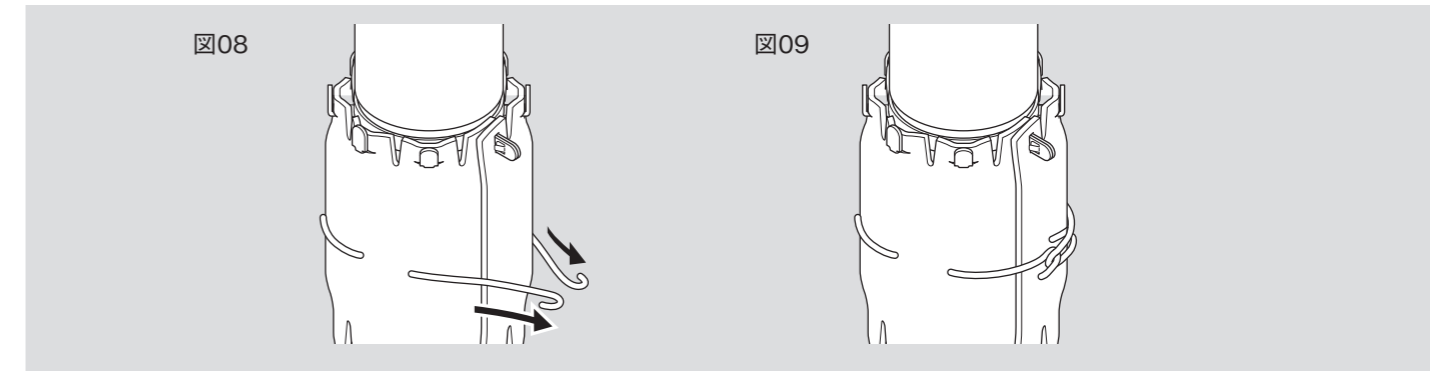
※耐火シートの縦穴に突起を何度も貫通させると、シートが破損する恐れがあります。

※金具は、塩ビ管の伸縮量を考慮し直線部に固定してください。



- ④ 耐火シート中央のバインド線に引っ張り、絡めて留めます。
(図08~09参照)

※バインド線の留め付け部が、ジョイントテープの下にならないように位置を調整してください。



- ⑤ 耐火シートの合わせ面に同梱のジョイントテープ (Sサイズ) を伸ばしながら貼り付けてください。(図10参照)

次に金具のビス止め部の下に同梱のジョイントテープ (Lサイズ) を一周以上巻き付けてください。(図11参照)

耐火シートと立て管との継ぎ目に、同梱のジョイントテープ (Lサイズ) を一周以上巻き付けてください。
(図12参照)

※ジョイントテープは1周以上巻き、必ずオーバーラップさせてください。

※付属のジョイントテープは幅や長さをカットしないでください。

※ジョイントテープを巻き付ける際は、耐火シート表面やテープ自体の汚れやほこりをウエスなどでよく取り除いてから巻き付けて下さい。テープがはがれる原因となります。

※一度使用したテープは、再利用できませんのでご注意ください。

別売のジョイントテープをご使用ください。

